

ビーチスポーツ協会 来月設立

浜川海岸を中心地に

玉野圏版

山陽新聞
<http://www.sanyo>

浜川海岸をビーチスポーツの中心地にすることを目指す「おかもやまビーチスポーツ協会」が3月10日、設立される。競技関係者や官民の代表者ら協会の役員予定者による事前会議が21日、レクレセンターで開かれ、青少年の健全な育成▽地域を元気に▽浜川海岸から世界へへの3理念の下、スポーツ教室開催、ボランティア活動、日本代表選手の育成などに取り組むことを確認した。



おかもやまビーチスポーツ協会設立に向けて理念や活動内容などが確認された事前会議

教室開催や選手育成 事前会議で確認

協会設立は浜川海岸で昨年9月、「全国ビーチサッカー大会(日本サッカー協会主催)」が初めて開催されたのがきっかけ。3日間で観客約3千人が詰め掛けるなどした盛り上がりを一過性に終わらせず発展させたいと、運営に関わった中国ビーチサッカーリーグ運営委員会運営委員長の安原賢一さん(34)が御崎が発表。10月から、同海岸や近隣で活動しているビーチバレー、ビーチテニス、ビーチヨガ、ビーチフィットネスの関係者らに参加を呼び掛け、準備を進めてきた。

安原さんによると、浜川海岸の砂浜は固まらない砂質で傾斜がなく広大なため、ビーチスポーツに最適。雨や災害が少なく、ホテルが隣接するなど大会開催面での条件にも恵ま

れているという。事前会議には、役員予定者のうち13人が出席。理事長に田井出身の小説家高嶋哲夫さんを迎えるなど役員予定者の紹介、活動内容の説明があった。高嶋さんは首都直下地震を題材にした「M8」、津波襲来を描いた「TSUNAMI」など大規模な自然災害を想定した小説を数多く手掛けており、防災面のアドバイザーを希望しているという。

会長就任予定のウオターフロント協会みなとまちづくりマイスター三宅定子さんは「ビーチスポーツ選手



ら市内への移住促進も図る。また、2020年東京五輪のビーチバレー競技の誘致を目標に掲げたい」と話している。(黒瀬一成)